



奈良時代の学習 (2時間扱い)

(1) 学習のねらい

身近な地域における、一枚の田に焦点を当て、律令制度のもとで、農民がどのようにして土地を与えられ、どのような負担を課せられていたかなど、農民の生活の具体的な様相を考察させる。貧窮問答歌や埼玉県にある防人の碑などの資料をもとに、当時の人々の努力、苦勞、願いを考えることができる。

律令制度の理解を深め、国・郡・里といった中央集権体制が確立していった様子を考えることができる。様々な出土品により、さいたま市に足立郡衙があったことを、多角的に考察を加えられる。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点	評価	資料
導 入	<p>< 第1時 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保地区の航空写真を見て、わかることを発表する。→ 例 規則的に土地が区切られている。 ・条里制についての教師の発問に答える。 <p>※ 「区画した時代は？ その目的は？ どのように区画してあるの？」など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坪の広さを、校庭に当てはめた地図をなぞり、大きさを実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒にテンポ良く発表させる。 ・大久保地区から植水地区にかけては、以前学習した古墳の存在からもわかるように、早くから開け、当時のさいたま市の中心であったことに留意させる。 		<p>【写真】 大久保条里遺跡 坪の広さを表す図</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>『さいたま市、埼玉県の史跡から律令制度を理解しよう！』 ～ 奈良時代の農民・貴族の生活の様子は？ ～</p> </div>				
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・大化の改新後の朝廷の政策を説明する。 → 公地公民制、国・郡・里制、大宝律令 ・さいたま市の地図を使い、条里制の跡をしめす地名を全員で確認する。→ 三条町、古里など <p>【てだて1】 < 班田収授法について考える。 ></p> <p>※ 「収、授をたやすく行うには田をどのように区画しておけばよいのか？ 一辺108⁶分の田をどのように耕したのか？ 班田収授法のしくみは？」などの発問に対し、各自予想をノートに書き、班で話し合っ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の説明により理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・坪、一枚の田の広さを実感としてつかませる。 ・測量、土木技術、水路、農道の発達に気付かせる。条里に平行した計画的な水路に留意させる。 ・鉄ぐわ、鉄鎌の普及にふれる。 ・班長のリーダーシップのもとに、短時間で内容の濃い話し合いがなされたか。 (意欲・判断) 		<p>【地図】 さいたま市</p>

<p>まとめ</p>	<p>【てだて2】<農民の負担について考える。> <small>発</small>「農民には、どのような負担があったのか？ 租や調、雑徭はどこに納めたのか？ どのような生活・苦勞をしていたのか？」などの発問に対し、各自資料をもとにノートに書き、班で話し合い発表する。 ・貧窮問答歌、防人の歌などの資料で農民の暮らしを知りを知る。</p> <p>【てだて3】<運脚、衛士、防人について考える。> 防人の例として、武蔵国の藤原夫婦の歌碑（八幡山古墳敷地内）から わかること、思うことをノートに書き、発表する。 防人の資料として、佐賀県唐子の中原遺跡出土の「木簡」の内容を読む。 古東海道、足柄峠の現在の様子を映像で確認する。 → 武蔵国の運脚が税を運んだ道、衛士・防人が通った道</p> <p>・さいたま市から武蔵国府・都までの日数を確認する。 ・本時の学習でわかったことをノートにまとめる。</p>	<p>・当時の農民の立場になって、社会的事象を考えられるように指導する。</p> <p>・古東海道、足柄峠で読んだ歌など解説を加える。</p> <p>・運脚や防人達は険しい道を、必死に都へと急いだことを知らせる。</p> <p>・出てきた地名は、その場で確認させる。</p> <p>・武蔵国府の様子は、次時詳しく扱う。 奈良時代の農民の生活について、様々な資料をもとに考えることができたか。 （思考・判断）</p>	<p>貧窮問答歌 防人の歌 【地図】 関東地方 【映像】 防人碑、足柄峠、武蔵国府、府中の森博物館の展示品 中原遺跡出土の木簡</p>
<p>導入</p>	<p><第2時> ・前時で学習した、律令制度の主な内容についての5問クイズに答える。 ・年表で奈良時代の出来事について確認する。 ・本時のテーマ、キーワードを全員で読みあげる。</p>	<p>・改めて、律令政治による中央集権化、農民の苦しい生活、都の繁栄などに注目させる。</p>	<p>年表 【地図】 近畿地方</p>
<p>展開</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">『奈良の都や貴族の生活・地方政治について考える！』</p> <p>【てだて1】<都や貴族について考える。> <small>発</small>「平城京はどんな都か？」の発問に対し、既得の知識を発表し合う。 ・平城京の地図や貴族の生活の様子を示す資料（教科書・資料集など）を見てわかること、疑問に思うことをノートに書き、班で話し合う。 ・実際に、平城京の現在の様子（発掘復元された建物など）、貴族の生活の様子（資料館の展示品、長屋王邸宅跡など）を映像で見て、理解する。</p> <p>【てだて2】<地方政治について考える。></p>	<p>・前時に学習した農民生活と比較させ、貴族（役人の）生活の特徴をとらえさせる。</p> <p>・平城宮だけでもかなり広いことを実感させる。</p> <p>・2010年に「平城遷都1300年祭」をひかえ、発掘も進み、内裏など復元中であることを説明する。</p> <p>・博物館の資料から平城京の</p>	<p>【映像】 平城宮跡 平城宮資料館展示品・長屋王邸宅跡 ・木簡など 【地図】 関東地方 さいたま</p>

<p>発 『地方政治は、誰がどこで行っていたのか？』 国府と郡衙について考える。</p> <p>発 『さいたま市は、奈良時代、どこの国、どこの郡に属していたの？』 資料を使い、調べる。 → 武蔵国 足立郡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像で現在の武蔵国国府の様子を確認する。 ・郡衙跡である「中宿遺跡」の復元倉庫を見て、郡衙の理解を深める。 <p>発 『国司、郡司にはどんな人が任命されたか？ どんな仕事をしていたのか？』などの発問に、資料で調べ、答える。</p> <p>発 『足立郡衙はどこにあったのか？』予想する。 大久保付近と氷川神社付近の2つ有力な場所である、ことを知る。</p> <p>発 『なぜ、この2つが有力と言われているのか？』 発掘出土品から検証する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大久保付近：道場寺院跡 「掘建柱群、軒丸瓦、蔵骨器など」</p> <p>氷川神社付近：氷川神社東遺跡 「掘建柱建物跡群、鉄鎌など」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・当時、掘建柱建物や瓦の使用は、役所・寺院など特別な場所に限られていたことを知る。 	<p>様子、貴族の邸宅・生活の様子を詳しく説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵国府のすぐ近くに、国分寺・国分尼寺があったことにもふれる。 ・足立郡衙の位置は、はっきりしたことは言えないが、2つが有力な候補地であること、出土品によって理由付けがなされていることを理解させる。 ・特に大久保地区は、既に学習した古墳との関連に注目させる。 ・将来、「新発見によって郡衙がわかるかもしれない」と、歴史のロマンを感じさせる。 <p>農民、貴族などそれぞれの立場にたち、奈良時代の人々の生活を説明することができたか。(表現・思考)</p> <p>さいたま市、埼玉県の史跡史料を中心に使って、律令制度についての理解が深まったか。(理解・史料活用)</p>	<p>市</p> <p>【映像】 武蔵国府跡・国分寺跡・中宿遺跡</p> <p>【映像】 遺跡の様子と出土品(道場寺院跡、大久保領家遺跡)</p>
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・律令制度のもと、奈良時代の人々はどんな生活をしていたのか。「貴族・役人」と「農民」の立場にたって、自分の考えを書き、提出する。 ・年表中の奈良時代の出来事を、再度全員で確認し、次の時代の予告をして授業を締めくくる。 <p>次回、全員の考えを一枚のプリントにして配布する。</p>	<p>プリント 年表</p>	

資料

(3) 訪問先及び資料の入手先

さいたま市立博物館、埼玉大学高久研究室、大久保条里遺跡(桜区)、道場寺院跡・大久保領家遺跡(桜区)、八幡山古墳(行田)、中宿遺跡(深谷市)、足柄峠(古東海道)、武蔵国国府跡・府中の森博物館(府中市)、武蔵国国分寺・国分尼寺跡(国分寺市)、平城宮跡・平城宮資料館(奈良市)、中原遺跡(佐賀県)

1、防人の碑

八幡山古墳（行田）



2、郡衙の倉庫跡

中宿遺跡（深谷市）



3、武蔵国衙跡（府中市）



4、足柄峠



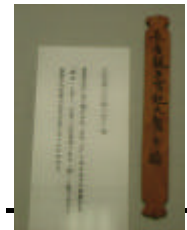
5、平城宮跡

朱雀門



朱雀大路

平城宮資料館
長屋王邸模型 →
出土の木簡 ↓



<さいたま市の遺跡>

6、大久保条里跡（GHQ撮影）



7、大久保領家遺跡



道場寺院跡

6、7は高久研究室所蔵